



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22, 1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2014年6月会報 第309号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長 (I P) Poul V. Thomsen (デンマーク)
 主題: "Go Ye Into All The World" 「全ての世界に出て行こう」
 標語: "Extension, Extension, Extension."
 「エクステンション、エクステンション、エクステンション」
- アジア地域会長 (AP) 岡野 泰和 (日本)
 主題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
 標語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事 (RD) 高瀬 稔彦 (岩国みなみ)
 主題: 「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」
 "Attend club meetings with a clear motive to make the most of them."
 標語: 「経験がワイズを育みます」
 "Your experience makes you a good Y's man."
- 六甲部長 山田 滋己 (神戸ポート)
 主題: 「さらなる交流 さらなる国際 さらに活発な六甲部へ」
 《一つ一つの楽しい活動を原点にして》
- 宝塚クラブ会長 石田 由美子
 主題: 「交流こそワイズの楽しさ」

今月のテーマ: 評価・計画

「イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアとマグダラのマリヤとが立っていた。イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に、『婦人よ御覧なさい。あなたの子です』と言われた。それから弟子に言われた。『見なさい。あなたの母です。そのときから、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。』」
 (ヨハネ福音書 19:25~26)

2014年6月第1例会

日 時: 2014年6月11日(水) 18:30
 場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間
 会 費: 会員3,000円、会員外3,500円
 ドライバー 福田 肇
 長尾 亘

開会点鐘 石田由美子会長
 ワイズソング 全 員
 聖 書 今田和子メネット
 祈 禱 石田 由美子
 ゲスト・ビジター紹介 石田由美子会長
 会長・委員会報告 会長・各委員長
 YMCA 報告 谷川 尚連絡主事
 会 食
 お 話 1年間の活動報告 各委員長

誕生日のお祝い
 閉会点鐘

石田由美子会長

2013/14 役員	会 長 石田由美子 直前会長 長尾 亘 副会長 杉谷和代、福田宏子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚 六甲部Y 'S・ユース事業主査 長尾 亘
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 長尾 亘 地域奉仕・環境 山崎泰男 EMC 多胡葉子 交 流 杉谷和代 ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	長尾ひろみ(6月1日) 若林成幸(6月3日) 青柳美知子(6月5日)
5 月 実 績	在籍会員数 26名 例会出席者数 24名 うち会員数 18名 出席率 69.2% メイクアップ(内数) 2名 メネット 1名 コメント・マゴメント0名、ゲスト・ビジター7名
	B Fポイント 5月 4,973円 累 計 41,808円 にこにこBOX 5月 5,000円 累 計 31,400円 物品販売累計 8,300円

5月第1例会報告

5月第一例会は14日(水)午後6時30分より宝塚ホテル・ゴールドの間に於いて出席者24名(メン16名、メネット1名、ゲスト7名)、司会吉田メンにより開催された。石田会長の開会点鐘に続きワイズソング、聖書朗読、祈祷の後ゲスト・ビジター紹介。武庫川がっこうの大塚氏が3回連続出席で入会?。会長報告、委員会報告。YMCA報告の後、和やかな雰囲気の中で食事を終えて、浅田容子先生(引退牧師)のお話「ハワイモロカイ島でのダミアン神父とハンセン病患者の歴史と現状」を聴いた。浅田先生はブリテンの「今月のみ言葉」の執筆者としてご奉仕いただいている。永きに亘り、アメリカ本土、ハワイなどで伝道活動をされており、その経験談を力強い口調で話され、会場はその迫力に圧倒された。あの小さい身体のどこからあのパワフルなエネルギーが生まれるのか。神様が「行け」と言われる所にはどこでも行く、そして行く先々で多くの人と出会い、出会った人との繋がり大切に、どんどんと人脈が広がる。そのことが更なる活動の力の源となる、という好循環を生んでいるのだと思う。遣わされた夫々の場所で精力的なお働きをされたことを窺い知ることができた。

ト・ビジター紹介。武庫川がっこうの大塚氏が3回連続出席で入会?。会長報告、委員会報告。YMCA報告の後、和やかな雰囲気の中で食事を終えて、浅田容子先生(引退牧師)のお話「ハワイモロカイ島でのダミアン神父とハンセン病患者の歴史と現状」を聴いた。浅田先生はブリテンの「今月のみ言葉」の執筆者としてご奉仕いただいている。永きに亘り、アメリカ本土、ハワイなどで伝道活動をされており、その経験談を力強い口調で話され、会場はその迫力に圧倒された。あの小さい身体のどこからあのパワフルなエネルギーが生まれるのか。神様が「行け」と言われる所にはどこでも行く、そして行く先々で多くの人と出会い、出会った人との繋がり大切に、どんどんと人脈が広がる。そのことが更なる活動の力の源となる、という好循環を生んでいるのだと思う。遣わされた夫々の場所で精力的なお働きをされたことを窺い知ることができた。



今回のタイトルとなったダミアン神父のことについては私は初めて聴いたことであり大変衝撃的であった。ベルギーの熱心なカトリック教徒の両親のもとに生まれたダミアンは1864年にハワイ・ホノルルの教会の神父に任じられ、そこで8年間仕えた後、33歳の働き盛りにハンセン病患者の暮らす島モロカイ島に遣わされて、16年間の献身と闘いの末、自らも同じ病気に犯され、1829年4月、49歳の若さで亡くなった。患者に対して愛情を注ぎ続け、差別や偏見と闘い続けた神父の壮絶な人生の一端を知り感動しました。そして、無理解な隔離政策がついに最近まで続けられていたこと、また元患者の方々が今も差別に苦しんでいることにショックを覚えた。浅田先生、貴重なお話を有難うございました。誕生日のお祝いをして、石田会長による閉会点鐘で5月例会を終えました。

吉田 明

5月第2例会報告

5月21日(水)18時30分から第2例会が逆瀬川のハッピーハウスで行われた。出席者は石田会長・山崎・吉田・多胡・福田ヒ・青柳・長尾・堀江・若林各メン・今田メネッ・谷川主事の11名に、バザー協力の西宮YMCA職員の大津氏、リーダーの犀川・増岡さん、合計14名であった。ハッピーハウスは5月末で閉館されるため最後の例会となった。

1. ハッピーハウス閉館に伴う整理

5月第2例会報告

① 5月26日(月)13時に集合して収納品の仕分け、不用品のクリーンセンターへの廃棄と、キャビネット引き取り先である「はんしん自立の家」への搬入を行う。谷川さんに運搬をお願いする。

② 今後の第2例会会場として、「ぷらざこむ」(売布駅から東へ300m)に利用許可申請をする。認可されれば会議室は無料で利用出来ます。

③ 6月第2例会は、宝塚西公民館会議室(小林駅から北へ3分・予約済み)で行う。

2. 次期ロースター

次期ロースターの記載内容の修正・確認をしているが、発注にあたり、ロースターの利用状況、経費削減の観点から購入数量を見直すこととした。協議の結果、全員への配布を止め、15冊の購入にとどめることとした。

3. 6月第1例会の運営

6月は1年間の活動を締めくくる評価を行う。各事業委員長から「活動実績」と「評価」を発表してもらい、全員で実績を振り返り次年度に反映させる。

発表原稿は7月例会での配布資料の活動記録に記載する。(例会終了後、書記に提出)

4. チャリティーバザーの運営

①山崎バザー委員長から、

- ・ 準備用品・購入品と担当者一覧表、
- ・ 準備日当番表、当日役割分担表

に基づき、具体的な役割分担と進行計画が説明され質疑応答を行って、バザーの成功に向けての決意を新たにしました。リーダーは19名の参加がある模様。感謝！

②準備；6/5 10時～17時、

6/6 9時～18時

バザー 6/7は9時集合、

バザーは11時～14時、カルチェヌーボ宝塚逆瀬川(アピア3号館内)で行われる。

5. 会計(担当；吉田)から6月末会計(見込)と次年度予算編成の考え方が説明され、若干の修正を加えて承認した。7月例会にて審議する。

6. ブリテン編集(担当；長尾)

既にブリテン担当から記事作成依頼が出されており、作成日程に合わせての投稿が望まれる。浅田容子牧師による「今月の聖句」は6月号で終了し、7月号からは嶺重 俣牧師に代わる。

7. その他 福田宏子からチャリティー・ラン実行委員会の報告があった。

若林成幸(書記)

会長報告

1. 数年来、第2例会会場として与えられていたNPO法人「はなみずき」の作業所であるハッピーハウスは5月末で閉鎖となり、6月以降、第2例会を持つ会場を探さなければならなくなりました。

現在、阪急宝塚線「売布神社」徒歩5分の宝塚福祉コミュニティプラザの「ぷらざコム1」を利用出来るように申請中です。レストランもあり明るい建物です。どなたでも気軽に参加してクラブの現状を知って頂きたいと思っております。正式に承認されましたらご報告します。

2. 6月14日(土)～15日(日)、山口県岩国市で第17回西日本区大会が開催されます。

宝塚クラブから11名のメン・メネットが参加します。DBCである岩国クラブをサポートするため当日会場で「岩国飛行艇カレー」を私達で販売する予定です。又、大会中、又は終了後、ミニDBC交流会が出来るか、現在検討中です。

3. 7月から宝塚クラブは六甲部部長輩出クラブになります。評議会、部会など部の主催行事には積極的に参加して多胡葉子部長を支えましょう。

2014～15年度六甲部 準備役員会・引継会

先日5月10日(土)神戸YMCAで14～15年度六甲部準備役員会及び事務引継会が行われました。午前中は今期山田部長の第二回六甲部評議会で出た議案の審議が行われ、午後から準備役員会がありました。初めに六甲部多胡葉子次期部長の活動方針と行事日程と部長

訪問の調整がありました。その後、新旧役員、事業主査が引継と情報交換がり、休憩後、次期事業主査から活動方針の発表を聞きました。そ

して、懇談を持ちました。スタートの準備が出来ました。7月26日が六甲部第1回評議会です。



長尾 亘（六甲部次期事務局長）

京都めいふるワイズメンズクラブ 30周年記念例会

2014年5月11日（日）、15:00からウエスティン京都ホテル京都を会場として4月の京都キャピタルワイズメンズクラブに続き30周年例会が盛大に開かれました。

実はこの2つのクラブは京都パレスクラブを親クラブとする双子クラブです。世界のワイズ史上例のない2クラブ同時チャーターで生まれました。

2クラブ設立準備委員長であった京都パレスクラブの大野嘉宏メンによると、当時京都パレスクラブは93名ものメンバーがいたそうです。これでは多すぎてクラブ内の親睦も図りにくいなど問題が出て、20名のクラブを2つチャーター、それでもパレスクラブには53名が残る、という大胆な事業でした。

第1部は記念式典、第2部は記念講演で、私達にはお馴染みの細川佳代子氏が講師として「インクルージョン～共生社会をめざして～」

の演題で講演されました。講演後、去年宝塚クラブ25周年にお越し頂いた事のお礼を言う機会が出来て幸いでした。

京都めいふるクラブはスペシャルオリンピックスに長く関わって来られたので、細川佳代子氏とは長年のお付き合いだそうです。氏のお話は何度聞いても涙・涙の感動ものです。「障がいを持つ人と知り合い、気づき、学びの毎日でした、彼らには本当に感謝しています」と、熱い思いをお話になりました。

第3部は記念祝宴。170名の出席者の中にはDBCの熊本ひがしクラブから5名、IBCの韓国仁川文鶴クラブから11名、台湾台中長春クラブから16名の出席があり30周年に相応しい華やかな祝宴になりました。

30周年記念アクトとして、宇治にある京都YMCAリトリートセンターのステージ改修工事をメンバー自身の手で行い老朽した施設を美しく蘇らせたと報告がありました。

午前中、京都東稜クラブの三科仁昭さんと同期主任の名古屋グランパスクラブの下村明子さんの3人で炙り餅を食べに今宮神社へ行き、五月晴れの鴨川を散策して京都を味わう、と言う盛りだくさんの一日を過ごしました。



石田由美子

阪神自立の家オープンデイと武庫川の
「へそカーニバル」に参加

阪神自立の家オープンデイと武庫川のへそカーニバルに参加

5月11日(日)に開催された阪神自立の家オープンデー、武庫川のへそカーニバルに長尾メン、今田メネット、多胡の3人が参加しました。はんしん自立の家のオープンデーは入居者の家族の方々、近隣の方々、ボランティアとして

関わっておられる方々が入居者の方々の出迎えを受け交流のひとつ時を



持つ日です。宝塚市の60周年、手塚治虫記念館20周年を覚えてのパネル展、クッキーなどの手作りのお菓子や、手作り品の販売、さんだのタケノコの販売などもありました。

ロビーでは歌声喫茶が開催。歌のお姉さんのご指導のもとマイクも回ってきて皆さん大きな声で懐かしい歌を沢山楽しく歌いました。なぜか長尾メンのところにもマイクが回って来

てニコニコ顔で歌の披露でした。

自立の家の前の武庫川では武庫川がっこう



がカーニバルを開催。子ども向きの数々のイベントが用意されていたのですが、参加者が少なくとても残念。

“みんなで遊びながら川について学習しよう”のイベントはこども達が水のことを楽しく学べるように開発されたプログラムでゲームをしながら学んでいくというもの。環境保全のための推進プログラムでもありこども達と共に大切な水のことを学んで環境問題を考えるということ。これは是非YMCAのリーダー、スタッフも知ってほしいゲームの数々と我々3人はとても興味を引かれました。夏には指導者講習会が開催とのこと。

阪神自立の家、武庫川がっこうとも宝塚ワイズは地域での広がりのあるクラブとして交流ができることは嬉しいことと思ったプログラムへの参加でした。

多胡 葉子

【今月のみ言葉】

浅田容子牧師

イエスは母マリアに対して特別扱いを拒否した記事はヨハネ福音書の「カナの婚礼」の場面です。「母がイエスに『ブドウ酒がなくなりました』と言った。イエスは母に言われた。『婦人よ、わたしとどんなかかわりがあるのです。わたしの時はまだ来ていません。』しかし、母は召し使いたちに『この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください』と言った。」(ヨハネ福音書 2:1-11)

これは、イエスの公生涯の初めに記されており、マリアの息子としてのナザレでの30年間の日常性から、神のみ旨に従い「その時」を生きる公生涯を歩み出された決意が示されています。

「婦人よ」と呼ばれた母マリアはこのショッキングな言葉の深い意味を悟り、イエスを信じ弟子たちもイエスを信じたのです。イエスは母や兄弟たちに代表される血縁、家族、性別、民族、人種や階級、などを排した、新しい人格と人格の出会いによる人間関係を示されたのです。次のみ言葉にはもっとハッキリと語られています。「周りに座っている人々を見回して言われ

た。『見なさい。ここにわたしの母、わたしの兄弟がいる。神の御心を行う人こそ、わたしの兄弟、姉妹、また母なのだ。』(マルコ 3:32、マタイ 12:46-50、ルカ 8:19-21)

今月の聖句は、イエス様が最後に教えられた「新しい掟」です。「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」(ヨハネ 13:34) イエスは母との血縁関係を拒否されたのですが、死の直前に最も憐れむべき不憫な女性に、愛弟子ヨハネに母として受け入れるように、神の前での新しい人格と人格との関係を授けられたのです。

イースターからマリアも弟子たちも新しい命を生きるものとされました。ハッピー・イースター！！

私は「肉親の母」と共に、人生で多くの「母」を与えられ、今日まで愛と庇護を受け、多くを教えられてきた事を心から感謝しています。

「神の御心を行う」とは「立派な道徳的な行いをする」という意味ではなく、「罪深い者をイエスの十字架によって赦そうとされた深い愛の心を実践する事」です。ふさわしくないままの存在(子供)をそのまま犠牲を払ってでも赦し受け入れる母の愛の行為でしょう。聖書の神は「父なる神」と言われますが「母なる神」とも言えるのです。今年も5月11日が「母の日」でした。皆様も心を込めて、人生に与えられた「母」を覚えられましたか！

「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」と刻まれた碑文は、今から約400年前、陣中の夫から妻に宛てられた簡潔明瞭な手紙です。そして、この“お仙”がのちに丸岡城主になったことを縁として、「日本一短い手紙」が誕生しました。1995年に第1回“母”をテーマにして全国及び海外から32,236通の手紙が寄せられ、選考された230通の作品が『日本一短い「母」への手紙』として出版されました。以下に幾つかをご紹介します。

「母さん、ありがとう。母さんが私を信じてく

れたからこそ、私も娘を信じぬけます。」

—上田寿美(女性・39歳)

『修学旅行を見送る私に「ごめんな」とうつむいた母さん、あの時、僕平気だったんだよ。』

—横川民蔵(男性・55歳)

「十人生んだ母さん、やっぱり好ききらいはあるんだろう。教えてくれよ。」

—柴崎弘三(男性・50歳)

「母よ、女房があなたによく似てきました。実に困ったことです。」

—三井一夫(男性・43歳)

「一筆啓上 『憎まれっ子、世に はばかる』ママが、わがままな人で 本当に良かった！！」

—逆井一江(女性・33歳)

「学問は貯金と同じと言ってくれたお母さん、お好きな薔薇(バラ)を贈ります。」

—三井文造(男性・67歳)

「遠くで想うと涙が出る。近くで見ると腹が立つ。お母さん！！愛しているよ。」

—長井恵里(女性・43歳)

「再婚話にゃ 驚愕(きょうがく)したが、シルバークラフに乾杯だ。親類筋は任せとけ。一陽来復 再見」 -井上猛(男性・53歳)



YMCA だより

1. リーダー委嘱式、開催

去る5月18日(日)にボランティアリーダーのトレーニングと委嘱式が行なわれて100名弱のリーダーたちが参加しました。年に1回の委嘱式ですが、今年度もリーダーの皆さんには子どもたちのためにご奉仕いただくと共に、彼ら自身の大きな成長のための活動になるよう学びの機会を持たしていただきました。またこの委嘱式はワイズの皆さんのお支えいただき

運営されています。ご支援ありがとうございます。

2. チャリティーラン、始動!

今年も11月3日(祝・月)に予定されているチャリティーランの実行委員会が、去る5月19日(月)から始まり、準備に当たってくださることになりました。今年の実行委員長は昨年までの大野 勉さんから美崎 晋さん(神戸ワイズメンズクラブ)に代わり、新しい委員の方も加わって実行委員会が組織されました。宝塚からも3名の方々が実行委員として加わっていただきました。今年度で16回目、今年も豊かな大会であることを祈ります。

3. 三宮会館の進捗状況

ウエルネスセンターの新拠点して準備が進んでいる「神戸YMCAファミリーウエルネスセンター」も、いよいよ外装が始まり、建物内でもエレベーターやプールの設置が行われています。予定通りの進捗で、7月下旬には完成の目処が立っています。8月30日には献館式、そして9月からの開館に向けて作業が進んでいます。また三宮会館も、新しい時代に向けてどのようにしていくかの計画をいよいよ本格的に検討が始まっています。現会館は7月末で閉館となる予定で、すでにカレッジやキャンプ事務所は新神戸オリエンタルアベニューへの引越しをしています。6月には本部事務局も同場所に移動予定です。なお、閉館感謝礼拝を8月2日にもつ予定としています。

また両新会館建築にあたり、広く募金を募っていくことが計画されています。新たな時代の中で、子ども、青年、すべての人びとのいのちが光り輝くような活動の拠点となるよう計画していますので、何卒ご協力お願いいたします。

4. 今後の予定

1) 『スペシャルコンサート in SEIAI』

「神戸 YMCA ベルクワイアー」「せいあいパイパース」によるジョイントコンサートです。

場所: 日本基督教団 聖愛教会 収容人数: 180人～最大で 250人

日時: 2014年7月12日(土) 午後4:30 開演
入場料: 1,500円

主催: 神戸 YMCA ベルクワイアー

共催: 神戸 YMCA

問合せ先: 神戸 YMCA 650-0001 神戸市中央区加納町 2-7-15 電話 078-241-7202

2) 『神戸YMCA午餐会～小豆島の活性化と神戸YMCAへの期待』

今回の午餐会は、余島野外活動センターが位置する小豆島の小豆島町長である塩田幸雄さんをお迎えして、小豆島の魅力とYMCAへの期待を語っていただきます。

場所: 神戸YMCA 4階

日時: 6月28日(土) 正午～午後2時
会費: 1500円(昼食代を含む)

定員: 40名(先着順)

お申込み先: 神戸YMCA本部事務局
078(241)7201へ